

第 132 回古民家歴史部会・歴史探訪

「横浜散策 18 区シリーズ・第 07 回」

平成 30 年 11 月 7 日(水) 「瀬谷区・長屋門公園」

*集合：戸塚駅(橋上改札口) 9 時 50 分厳守同時出発

*解散：戸塚駅

瀬谷区は昭和 44 年戸塚区から分離、誕生した。

瀬谷は江戸時代、徳川氏の代官彦坂小刑部(ひこさかこぎょうぶ)の支配下となり、初めて検地が行われた。その後、瀬谷野新田が開墾され、農村地帯としての瀬谷が栄えた。明治中期頃から昭和 30 年代頃まで養蚕業が盛んだった。(昭和 54 年【瀬谷区制施行 10 周年記念誌】から抜粋)

セヤは「狭谷」で、「狭い川瀬の小谷のある地」が地名の由来と言われています。

※「世野」という説もあります。(日本地名語源辞典から)

【参考資料】★散策コース「横浜」(昭文社) ★神奈川県謎解き散歩(新人物文庫) ★横浜地図帳・街の達人(昭文社) ★横浜・歴史の街かど(横浜開港資料館) ★瀬谷区役所発行図書ほか

①長屋門公園

長屋門公園は、古民家を中心とする歴史体験ゾーンと、杉林・散策路を中心とする自然観察ゾーンに分かれています。歴史体験ゾーンには、横浜市認定歴史的建造物に認定されている旧大岡家の長屋門と旧安西家の主屋や、土蔵・井戸があります。また、ボランティアが運営する売店があり、竹細工等が販売されています。竹馬・ぼっくり・輪回し等の昔の遊具が備えられ、自由に利用することができます。自然観察ゾーンは杉林となっている斜面が多く部分を占めています。せせらぎの水辺や希望ヶ丘駅方面へ抜ける散策路があります。

横浜市内には環境創造局が整備した古民家公園が 9 箇所あります。

1. 天王森泉公園いずみ館 (泉区)
2. せせらぎ公園古民家 (都築区)
3. 長屋門公園古民家 (瀬谷区)
4. 舞岡公園小谷戸の里 (戸塚区)
5. 都築民家園 (都築区)
6. みその公園横溝屋敷 (鶴見区)
7. にいはる里山交流センター (緑区)
8. 根岸なつかし公園旧柳下邸 (磯子区)
9. 本郷ふじやま公園古民家 (栄区)

(順不同)

②製紙場跡

この辺り、古くは養蚕・製紙が盛んでした。

詳細は瀬谷区の案内板(長屋門の近くにある駐車場)

③宮沢神明社

この神社の創建年代は不明、江戸寛永年間に創建されたと言われている。境内には養蚕の神をまつる白姫神社、農耕の神の三峯神社の境内社がある。

④めがね橋

持田角左衛門は、アメリカの最先端の製糸技術を学んで明治 32 年帰国し「盛進社合資会社」を設立した。製糸業のパイオニア。工場は現在の上飯田農協の近くと長後にあった。

④山王稲荷社

徳川四代将軍家綱の時代、旗本石川六左衛門が石高を補うため瀬野(現在の瀬谷)と和泉間の荒れ地に上矢部村(現在の戸塚区上矢部町)の名主・佐藤家の郎党数名(佐藤、上杉)を第一陣として入植させ宮沢の南、和泉境より開墾を開始させた。

開墾にあたり現在の地に山王稲荷社の祠を建て工事の安全と早期の完成、五穀豊穰、家内安全を祈念したことが始まりとされ、宮沢最古の社である。

⑥赤関おとなり橋

「赤関おとなり橋」は、橋は人と川が出会う楽しい場所であってほしいという発想から作られ、音が鳴るのは橋に来るのを楽しんでもらうためだという。

8 個の車輪を回すと、音が出る仕掛けで、その材質は「アルミ合金」「亜鉛合金」「リン青銅」「球場黒鉛鋳鉄」「鼠鋳鉄」などと記されている。

文責：神田



瀬谷区

中屋門～和泉川散策



瀬谷区の位



①長屋門公園



②製紙場跡



③宮沢神明社

④赤関おとなり橋



④山王稲荷社

⑤めがね橋

⑥山王稲荷社

大船駅西口バス乗り